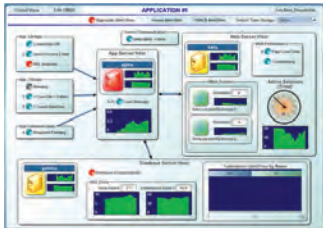




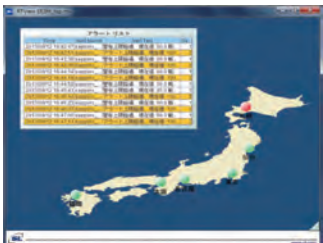
サービス・レベル画面から、アプリケーション・コンポーネント・レベル詳細にドリルダウン



自在にカスタム設定できる、アラートのしきい値や生成条件と画面構成



Oracle Coherence インメモリ・キャッシングのクラスター・アプリケーションの性能と可用性の監視



DCIM (データセンター・インフラ管理) への適用: IT インフラを支える電力・空調設備などの物理インフラ層とともに監視



気象や電力需給状況など、サービスに影響する情報を複合的に可視化して監視

リアルタイム・データのダイナミックでグラフィックな可視化と監視で、ビジネスやサービスが見える「スマート・モニタリング」を実現

オペレーション・ビジビリティを提供する監視システムを容易にカスタム構築

コンテンツリッチながらもシンクライアントな「カスタム」監視ダッシュボード画面、インメモリの高速なデータ集約と分析、アラートと対応アクション、ヒストリアン(履歴)などの仕組みを、ポイント&クリックのビルダーでプログラミングすることなく「カスタム」構成。XML, SQL, JMS, JMX, WMI, SNMP, Pipe, Agent, カスタム・データなど、メニュー選択するだけで、ダイレクトに接続できます。そして、ビルダーで対話的にカスタム定義した構成ファイルは、変更することなくデスクトップまたはブラウザで透過的に運用できます。

ログや管理ツールなど既存の性能データに接続してすぐに可視化、高度なアラートやヒストリアン(履歴)機能とともに監視、付加価値として提供可能:

- RTView は、インフラ監視/アプリケーション性能監視 (APM)をはじめ、アプリケーション・サーバ、MOM^(*)、CEP^(**)などの SOA ミドルウェア監視、サービスやビジネス・アクティビティ監視 (BAM) まで、広範に適用されています。
- 国際貨物輸送サービスのトラッキング、サプライチェーン・システムの監視、オンライン・ストアのグローバルな中央監視、オンライン旅行サイトの予約状況監視など、多くの RTView ユーザー様の事例では、そのビジネスを左右するサービスのアプリケーション・インフラを監視されており、**インフラ監視 ⊆ APM ⊆ BSM ⊆ BAM…多くのケースでこれらは同じで一つです。**
- また、RTView のサーバ機能によって、一つのアプリケーションの性能監視から大規模なグローバル・システムまでのスケラビリティを提供し、運用されています。

(*1) Message Oriented Middleware (*2) Complex Event Processing

RTView によるリアルタイムな監視とアラートとは、「今、この瞬間にオペレーションやシステム全体で何が起きているか」を可視化し、深刻な問題に発展する前にアラートして未然に防ぐ対策を可能にするもの… Right Now! and Not Later

- ★ **最もリアルタイム**... 監視制御を専門としてきた技術による最小のフットプリント、リアルタイム・データに「直接」接続、インメモリ・キャッシュでデータを集約・分析して高速に表示
- ★ **最もカスタマイズ可能**... 画面と部品はさることながら、データの集約(フィルタリング)と分析(カスタム関数)、アラートと対応アクション(カスタム・コマンド)、ヒストリアン(永続化)なども完全にカスタマイズ可能
- ★ **任意のデータに接続可能**... RTView で予め用意しているさまざまなデータ・アダプタですぐに接続、さらにはいかなる企業独自の特殊なデータもカスタム・アダプタ(API)で取り込み可能

- 関連する性能データすべてを集約
- サービスやオペレーションに関連付けたアラートの管理機能
- しきい値などのカスタム・ルールと対応アクションの自動化
- 性能データを履歴化(永続化)できる高度なヒストリアン機能
- 職務役割別、影響度別、階層的な監視画面(オーバービューから詳細画面へのドリルダウン)の構築と自動生成
- RTView サーバ機能による高性能な運用とスケラビリティ



ディスプレイ・サーバによるシンクライアント機能によって iPhone に表示される高対話性の RTView 監視画面



世界をリードする SOA ミドルウェア製品や各種ソリューションで使用されている RTView®

RTView は、製造、エネルギー/公益、通信、金融サービス、小売・流通をはじめとする幅広い分野において、グローバルな基幹システムや EC サイトのアプリケーション・インフラ監視、オペレーション管理などで活用されています。また、イベント駆動型 SOA 分野で世界をリードする各社のミドルウェア製品や各種のパーソナル・ソリューションにおける性能監視で使用されています。

1983年に設立された SL (Sherrill-Lubinski) 社は、リアルタイム・データの可視化と監視の専門メーカーです。プロセス制御、通信ネットワーク管理、設備監視/ビル管理、交通管制、宇宙・防衛など、世界のミッション・クリティカルな監視制御システムで稼働しており、常に最先端の技術で業界をリードしてきました。その専門技術をエンタープライズITに展開したのが RTView (リアルタイム・ビュー) で、同社の比類なくコンパクトで高速な Java グラフィックス技術をベースにしています。

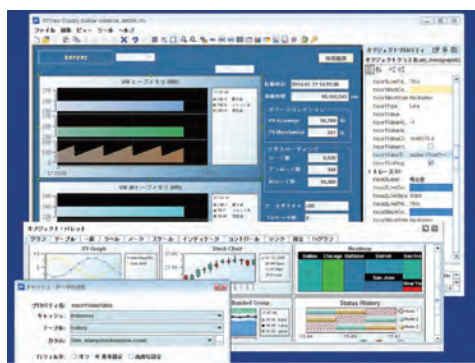
ビルダー：ポイント&クリックで監視ダッシュボードをカスタム構成、必要なデータに接続してプレビュー

RTViewのビルダーでは、個々のユーザや用途向けにカスタマイズした監視ダッシュボードを簡単に構成できます。ポイント&クリック操作のオブジェクト・パレットを使い、100種類以上の広範なダイナミック・グラフィック・オブジェクト(テーブル、グラフ、データ入力、スケール、リンク、メータ、ゲージなど)から選べます。そして、選択したオブジェクトをビルダーの作業領域にドロップすると、そのプロパティ・ダイアログが現れ、形式や色、動的振る舞い、しきい値、実行コマンドなど、さまざまな属性を指定できます。さらに、ビルダーの「データ付加」メニューで接続するデータを選択するだけで、オブジェクトがすぐに動き出します。

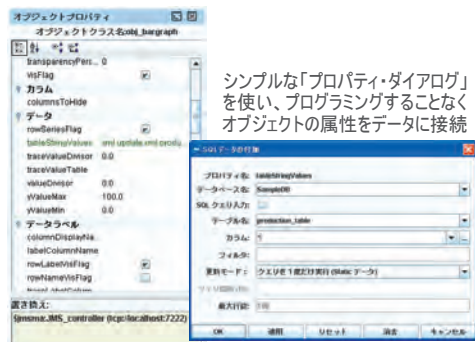
RTViewでは、ダッシュボード画面と部品はさることながら、画面上にどのようにデータを集約して表示するか、アラートと対応アクション、分析、ヒストリアン(永続化)は、すべてビルダーでカスタマイズ可能で、さらにSL-GMS Java開発ツールで作成した独自のグラフィック部品を簡単にビルダーにインポートすることも可能です。さらに、ビルダーで対話的にカスタム定義した「構成ファイル」は、変更することなくデスクトップまたはブラウザで透過的に運用できます。

機能が豊富ながらも、簡単操作のRTViewビルダー

- データの集約と分析(計算)ならびに簡単なルール(しきい値や対応アクション)を実行できる、多数の関数(ならびにカスタム関数)とコマンド(ならびにカスタム・コマンド)をダイアログで設定
- 100種類以上のオブジェクトの豊富な属性とさまざまなデータ付加(接続)をダイアログで設定
- ツリー選択、ドリルダウン、フィルタリング、スムーズなズーム/パン、HTML、リンク、タブ付きペイント(区画)、任意のオブジェクト上のマウスオーバーでテキスト・データ表示、アコーディオン(展開)など、直観的かつ多角的にデータを閲覧できる画面ナビゲーション(遷移)とデータの相互関連付け
- その他、アラート、ヒストリアン、レポート、キャッシュ、サーバ機能、セキュリティの設定ダイアログ など



ポイント&クリック操作のパレットを使って、多種多様のダイナミック・グラフィック・オブジェクトから選択



シンプルな「プロパティ・ダイアログ」を使い、プログラミングすることなくオブジェクトの属性をデータに接続

アラートとヒストリアン：すぐに使える豊富な監視機能

RTViewでは、SQLアダプタを使って任意のJDBCデータベースに、リアルタイムデータを履歴として格納(永続化)することができ、ユーザ定義によるテーブルの自動生成なども可能です。さらに大量のデータをインメモリ・キャッシュと物理的なデータベースの間で透過的に圧縮・展開してエンジン管理、タイムスタンプでそのときの監視画面をいつでもプレイバックして見られる高度な「ヒストリアン」機能を提供しています。

また、ビルダーのアラート設定ダイアログで、しきい値や生成条件などを対話的にカスタム設定し、アラート画面はテーブル、グラフ、メータ、独自の部品などで、自在にカスタム構成することが可能です。その他、画面のPDF化、ExcelシートやHTML形式へのデータ・エクスポートによる、記録とレポート配信が可能です。

ビューワー：迅速で柔軟な運用選択肢が、速やかなROIを可能に

ビルダーで作成した監視ダッシュボードは、すぐに複数の選択肢で透過的に運用できます。特別なサーバソフトウェアや複雑なプラットフォーム・アーキテクチャは必要ありません。また、RTViewのロールベース(職務役割別)・セキュリティを使用、または既存のLDAPやデータベース・セキュリティを統合した運用が可能で、誰がどのデータを閲覧でき、どの応答アクションを実行できるかを、ビルダーで定義できます。

- コンパクトなWebリッチクライアント(Javaアプレット)
- 「ディスプレイ・サーバ」による、対話性の高いWeb 2.0シンクライアント(Ajax, HTML)
- デスクトップJavaアプリケーション

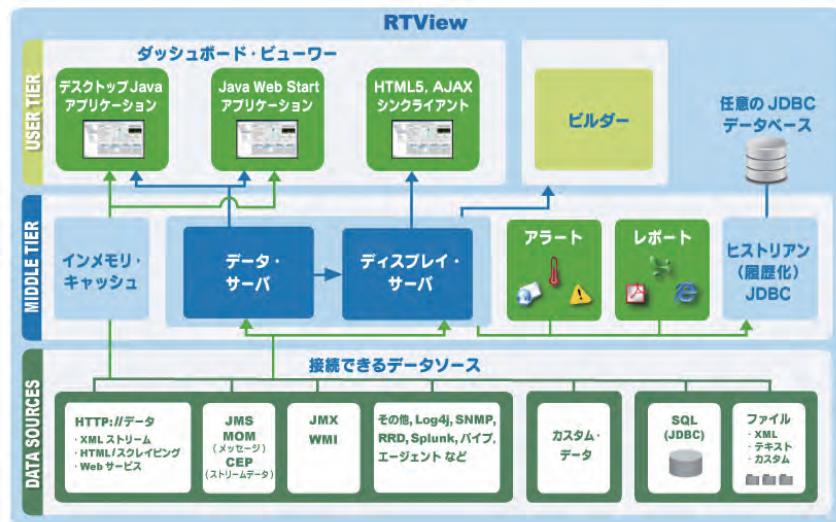
複数のデータソース：特定のシステムやアプリケーションに制限なく

RTViewでは、特定のアプリケーションやシステムに限定されることなく、ニーズに応じた複数のデータソースにアクセスできます。予め用意している各種の標準的なアダプタでデータを取れることがほとんどですが、さらにはいかなる独自の特殊なデータも、RTViewの「カスタム・アダプタ(API)」でビルダーに取り込み、簡単に接続できるようにすることが可能です。

そして、これらのリアルタイム・データは高速にアクセスできるように、RTViewのインメモリ・キャッシュに集約されます。ジョインやフィルタリングによる生データの変換、相互関連付け、アラート、しきい値などのルールと対応処理は、すべてポイント&クリックのビルダーでカスタム定義して管理できます。

データ接続アダプタ(例)：XML, SQL (JDBC), JMS, JMX, WMI, SNMP, Pipe, Agent, RRD, Log4j, Splunk, …, カスタム・アダプタ

接続先(例)：アプリケーション・サーバ, メッセージ指向ミドルウェア(MOM), CEP(ストリームデータ処理), データベース, ログファイル, 監視ツール, 運用管理ツール, …, 独自の特殊データ



RTViewのサーバ機能：スケーラビリティ、セキュリティ、パフォーマンスを提供

RTViewのサーバ機能によって、一つのアプリケーションの性能監視から大規模なグローバル・システムまでのスケーラビリティを提供し、運用されています。

RTViewでは、データソースを「データ・サーバ」にリダイレクトし、ユーザは個々のデータソースの代わりにデータ・サーバに接続することで、パフォーマンスの最適化が可能になります。そして、RTViewの「ディスプレイ・サーバ」によるシンクライアント機能で、監視ダッシュボードを分散したブラウザ・クライアントに高速に配信できます。よって、RTViewはユーザ数が増加しても、スケーラブルに対応できます。

さらに、複数のデータ・サーバを地域や事業所別に設置し、データの収集と格納を一ヶ所に集中させることなく分散することも可能です。そして、分散したデータ・サーバそれぞれが生成するアラート・イベントのみを中央のデータ・サーバに送信、中央の「ディスプレイ・サーバ」によるシンクライアント機能で分散したブラウザ・クライアントに監視ダッシュボードを配信して、詳細画面へのドリルダウンは、分散したそれぞれの「データ・サーバ」にアクセスします。さらに、データ・サーバはHTTPリクエストを受信できるシングル・アクセス・ポイントを提供するため、システム・セキュリティを維持したまま、ファイアウォールを通過して情報を渡すことが可能になります。